

令和3年3月31日 受付
第 号

相互提案型協働事業実施報告書

令和3年 3月 31日

(宛先) 座間市長

団体住所 座間市入谷東2丁目8番 2-914

名称 ざま災害ボランティアネットワーク

代表者氏名 濱田 政宏



市 担当課 子ども育成課

所属長 正田美知子



次のとおり報告します。

1 事業名	児童ホームの防災対策事業
2 事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体提案協働事業 <input type="checkbox"/> 市提案協働事業
3 選考年度	令和元年度選考 (令和2年度実施)
4 報告期間	令和2年 4月 1日 から 令和3年 3月31日 まで
5 事業費	142,068円 (うち座間市支出分 142,068円)
6 事業概要 (事業内容等を450字以内で御記入ください。) ※詳細な報告は、別紙事業評価シートに御記入ください。	児童ホームの防災対策事業(安全管理・災害対策強化)の事業2年目の取り組み。令和2年度の事業と開始と同時に、令和2年4月7日緊急事態宣言が発出され、同年5月25日の解除後、神奈川県も「新しい生活様式」「感染拡大予防ガイドライン」の実践を通じて、教育の遅れを取り戻すべく夏休みの短縮などに取り組み、夏以降、新規感染者は減少に転じたが、10月末以降からは、再度増加傾向となった。このため当初計画していた夏休みを活用した児童ホーム内における「防災イベント」は中止とした。冬休みに何か所かと調整したが、12月には再び、首都圏を中心に、医療提供体制がひっ迫し、令和3年1月7日に、神奈川県を含む首都圏に再度緊急事態宣言を発出されたことより、計画の中の「児童ホーム指導員」に対する研修のみを、十分な感染予防対策を講じて1月、2月に実施した。一方、前年度の成果物である、「児童ホーム危機管理ガイドライン」の推敲、校正を重ねて印刷に出して次年度の活動に続ける基盤を構築した。
7 添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業詳細報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業記録写真 <input type="checkbox"/> チラシなどの広報資料 <input checked="" type="checkbox"/> 作成した冊子などの資料 <input checked="" type="checkbox"/> その他(研修資料)

相互提案型協働事業評価シート

事業名	児童ホームの防災対策事業（コロナ対策で2回に分散実施）
-----	-----------------------------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	<p>所期の目的は、十分達成できましたか。</p> <p>残念ながら新型コロナウイルス感染症の拡大により非常事態宣言が発出されたために個々の児童ホームの活動は未達に終わりました。その中で危機管理マニュアルガイドラインは製作することができました。また、児童ホーム指導員への研修は予定通りに実施できました。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、児童ホームでの訓練を実施することができませんでした。</p> <p>危機管理マニュアルガイドライン（以下、「ガイドライン」とする。）を作成することができ、ガイドラインに沿った内容で児童ホーム指導員研修を実施することができました。</p>
事業成果・効果	<p>事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。</p> <p>非常事態宣言下でしたが、担当課の協力を得て、修正計画の中で実施できたと思います。</p> <p>成果物ができたことによって、このガイドラインに沿って、各児童ホームのマニュアルが整備されると思います。</p>	<p>今年度作成したガイドラインに沿った内容で児童ホーム指導員研修会実施したことにより、14児童ホームでの危機管理・防災に対する共通認識を持つことができた。</p> <p>ガイドラインは全児童ホーム共通のものになるため、来年度はガイドラインを基盤として各児童ホームに合ったマニュアルを整備していくことができると思います。</p>

2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	<p>十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。</p> <p>非常事態宣言下の中では、担当課と密接な連携を取りながら、計画を修正しながら協働の成果ができたものと思います。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため当初の計画通りには事業を実施できませんでしたが、この状況下の中で出来ることを団体と連携して計画を修正し、最終年度までの事業目標を立てることができました。</p>
事業の進行管理	<p>進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。</p> <p>現在、ガイドラインの最終稿の校正中で修正次第印刷にかけて、年度内には今年度のゴールに到達すると思います。発注済み。3月20日前後に納品された</p>	<p>学校臨時休業に伴い、児童ホームの年間予定が変更になり、年度当初の指導員研修会や長期休業中の訓練を実施することができませんでしたが、この状況下の中で実施できることを団体と連携して計画を修正し、実行することができました。</p>
対等な関係	<p>協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。</p> <p>担当者、並びに担当課長とは、長年の業務についての協働事業の経験を持っていたことから対等の関係で行うことができたと思います。</p>	<p>対等な立場で協議することが出来たと考えます。</p>
相互理解	<p>相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。</p> <p>児童ホーム指導員の研修も、計画では年度初めに計画しておりましたが、三密を避けること、また、児童ホームの運営自体が急に変更になりました。直ちに軌道修正を行い、1月、2月の児童ホームの定例会議を用いて実施することができました。これも永年の仕事上の関係性がプラスに働いたものと思います。</p>	<p>コロナ渦で出来ることを互いに検討し、マニュアルの基盤となるガイドラインの内容を細かく検討したり、研修会の開催方法を工夫して実施することができました。</p>

3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果たすことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。	
	<p>(団体の役割) 今年度は、計画案の修正と、ガイドライン完成に向けての原稿案の修正並びに校正と印刷管理。(外注)</p> <p>指導員研修の構成と実施。 2021/1/8 並びに 2/15 に実施</p>	<p>(市の役割) 危機管理マニュアルガイドラインの内容を児童ホームの運用に沿ったものに修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの校正 ・指導員研修会会場の確保

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	
	適正だと思います。	適正であったと考えます。
実施結果	設定した役割分担を果たすことができましたか。	
	当初計画に沿っては実施出来なかったが、修正計画はほぼ達成できたと思います。	修正した計画は達成することができました。
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	
	今年度は、児童ホーム本体の活動はできませんでしたが、指導員研修並びにマニュアルの作成は協働事業つての成果だったと思っています。	<p>団体と協働して実施することで、危機管理・防災に関する専門的な知識をガイドラインや研修の内容に反映することができました。</p> <p>協働で実施したことにより、児童ホームの運用に合ったガイドラインを作成することができた。</p>

4 今後の具体的な展開

<p>事業の波及効果</p>	<p>今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。</p>	
	<p>(団体の考え) 前年度は、テストラン3児童ホームの防災教育をテストランとして取り組みました。今年度は、5か所の児童ホームの活動を計画しました。残念ながら新型コロナ感染によって、未実施になりました。すでに令和3年度の事業は継続することが決まっていますので、市と事業実施スケジュールの調整をし、計画通り事業実施できるようにしたいと考えます。</p>	<p>(市の考え) 児童ホーム危機管理マニュアルの基盤となるガイドラインが完成したので、ガイドラインを基に来年度実施予定の児童ホームでの訓練を実施していきたいと思います。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために来年度も計画が変更になることがあると思いますが、団体とスケジュール調整や計画の検討を密に行い、計画通り事業を実施できるようにしていきたいと考えます。</p>